

第12回数理生物学シンポジウムプログラム

2002年9月19日(木)-21日(土)

北海道大学函館キャンパス 水産科学研究科・水産学部

〒041-8611 函館市港町3-1-1

9月19日(木)

13 :00-15 :00 オーガナイズドセッション

オーガナイザー : 宇佐見義之 (神奈川大学)

「古生物の形の進化と運動」

- Rapid ontogenetic change in late cretaceous Mosasaurs (Reptilia: Aquamata) as a model of vertebrate morphogenesis. 後期白亜紀モササウルス類の急激な形態変化について; 脊椎動物の進化の一例として

Michael J. Everhart (Fort Hays State University)

- 古代の生態系の電子的な復元; 生物の基本的体型の変化とその運動形態の変化
宇佐見義之 (神奈川大学)
-

15 :20-17 :00 一般講演

15 :20-15 :40 不均一環境における巻き添え競争

難波利幸・石田真紀 (大阪女子大学)

15 :40-16 :00 増殖率関数の凸性と共存可能性

今隆助 (静岡大学)

16 :00-16 :20 分子進化の遺伝的荷重 --- 木村の誤り ---

松田博嗣¹・石井一成² (九州大名誉教授¹・名古屋大学²)

16 :20-16 :40 弱突然変異極限の集団遺伝学 --- 厳密な結果 ---

石井一成¹・松田博嗣² (名古屋大学¹・九州大名誉教授²)

16 :40-17 :00 食物網型大自由度ランダム群集モデルのパーシステンス

時田恵一郎・茶碗谷毅 (大阪大学)

17 :20- 総会

9月20日(金)

9 :00-10 :20 一般講演

9 :00-9 :20 サーカディアンリズム周期における温度補償性の基本原理

黒澤元・巖佐庸 (九州大学)

9 :20-9 :40 粘菌変形体の流路ネットワークの形態形成

中垣俊之・小林亮 (北海道大学)

9 :40-10 :00 細胞接着による組織分離の可能性

高野良治・望月淳史・巖佐庸 (九州大学)

10 :00-10 :20 視神経軸索の中脳でのマッピング - 密度効果による調節

本多久夫 (兵庫大学)

10:30-11:50 一般講演

- 10:30-10:50 病原体 - 免疫系システムの安定性解析
佐々木徹¹・村瀬晶子²・梶原毅¹ (岡山大学¹・萩東中学校²)
- 10:50-11:10 Permanence of single-species stage-structured models
齋藤保久・今隆助・竹内康博 (静岡大学)
- 11:10-11:30 スズキとセイゴに関する時間遅れモデルの安定性解析
山口正博・竹内康博 (静岡大学)
- 11:30-11:50 雑食と食物連鎖の安定性
田辺久美・難波利幸 (大阪女子大学)
-

13:00-14:40 一般講演

- 13:00-13:20 ランダム環境下の中立群集における種の個体数分布と多様性
五十嵐正明・瀧本陽介・藤曲哲郎 (金沢大学)
- 13:20-13:40 拡散を伴う SIS モデルにおける地域的感染防御の効果について
佐々木徹 (岡山大学)
- 13:40-14:00 時間連続型と時間離散型の個体群動態数理モデルの関連性に関する考察:レスリー
差分法再考
瀬野裕美 (広島大学)
- 14:00-14:20 Lotka-Volterra被食者 - 捕食者系における個体群削減による系崩壊の特性
緒方直美・瀬野裕美 (広島大学)
- 14:20-14:40 量的形質を巡る共進化の数理モデル
高須夫悟 (奈良女子大学)
-

15:00-17:00 オーガナイズドセッション

オーガナイザー:西村欣也 (北海道大学)
「水圏生物と数理生物学」

- 魚群の個体間の相互作用の解析と群の運動モデル
稲田喜信 (東京大学)
 - 冬季北太平洋における海流が日本系サケの生存に及ぼす影響
東屋知範¹・石田行正¹・真山紘² (北海道区水産研究所¹・さけます資源管理センター²)
 - 水産資源学における代表的な数理モデル
赤嶺達郎 (中央水産研究所)
 - 鯨の通信距離
中村耕司¹・赤松友成² (千葉大学¹・水産工学研究所²)
-

18:00- 懇親会

9月21日(土)

9:00-10:20 一般講演

- 9:00-9:20 変動環境下での保全戦略:最適保全努力と最適調査努力
横溝裕行・Patsy Haccou・巖佐庸 (九州大学)
- 9:20-9:40 シャガス病流行の数理モデル
稲葉寿¹・関根尚² (東京大学¹・明治生命²)
- 9:40-10:00 マツ枯れ伝播過程のメカニスティックモデルによる数理的研究
三村幸枝¹・川崎廣吉²・高須夫悟¹・重定南奈子¹ (奈良女子大学¹・同志社大学²)

10 :00-10 :20 托卵系の卵模様の共進化に関する個体ベースモデル
奥野由美子・高須夫悟・重定南奈子 (奈良女子大学)

10 :30-11 :50 一般講演

10 :30-10 :50 格子状分断環境における侵入生物の閾値面積
杵崎のり子¹・川崎廣吉²・高須夫悟¹・重定南奈子¹ (奈良女子大学¹・同志社大学²)

10 :50-11 :10 密度に依存する行列モデルの分岐について
間崎圭一郎・竹内康博 (静岡大学)

11 :10-11 :30 シクリッド群集における左右性のダイナミクス
中嶋美冬¹・松田裕之¹・堀道雄² (東京大学¹・京都大学²)

11 :30-11 :50 禁漁区面積のフィードバック制御による資源管理効果
甲斐幹彦・白木原国雄

11 :50-12 :10 バクテリアコロニーの空間パターン形成速度の相転移
若野友一郎 (東京大学)

13 :00-14 :40 一般講演

13 :00-13 :20 渡島半島ヒグマ個体群のフィードバック管理
松田裕之¹・堀野真一²・間野勉³・釣賀一二三³・富沢昌章³ (東京大学¹・森林総研²・北海道環科研セ³)

13 :20-13 :40 差分方程式による捕食者と被食者の動態分析
馬屋原敏博 (阪急航空)

13 :40-14 :00 エキノコックスモデルの数学的解析
梶原毅・沖田知毅・篠原猛人 (岡山大学)

14 :00-14 :20 多魚種系水産資源の選択的フィードバック管理について
木村紀雄 (東京大学)

14 :20-14 :40 形質の分岐進化における不安定分岐について
西村欣也 (北海道大学)
